

第30回（平成27年度）
商業経済検定試験問題
〔経済活動と法〕

解答上の注意

1. この問題のページは2から16までです。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入しなさい。
3. 問題用紙の表紙に受験番号を記入しなさい。
4. 文字または数字で記入するもの以外はすべて記号で答えなさい。
5. 選択問題Ⅰ〔会社に関する法〕・選択問題Ⅱ〔企業の責任と法〕は2分野のうち1分野を解答すること。2分野を解答した場合は、選択問題すべてを無効とします。
6. 計算用具や六法全書などの持ち込みはできません。
7. 制限時間は60分です。

※ 試験終了後、問題用紙も回収します。

1 次の文章を読み、問いに答えなさい。

社会生活のなかで、人間どうしが関わりをもつ際のルールを社会規範という。社会規範には、法・道徳・慣習・宗教上の戒律などがある。そのなかでも(a)法は、他と違う特質をもつ社会規範である。

法はいろいろな基準から分類することができる。条文に書きあらわされているか、否かを基準とすると、成文法と不文法に分類することができる。

成文法のなかでも法律は、国会において制定される。政府はその内容を国民に広く知らせるため、(b)法律の公布の役割をもつ国の機関紙に条文を掲載する。法律は施行されることで、その効力を現実^{じゆんじつ}に生じさせ、社会生活を規律する。例えば、選挙権年齢を20歳から18歳に引き下げる改正公職選挙法は2015年6月17日に制定、2015年6月19日に公布、2016年6月19日に施行されることで、その効力を生じさせる。

また、成文法は地方公共団体においても制定される。例えば、2002年9月に秋田県由利郡岩城町^{ゆりいわき}(現：由利本荘市^{ほんじょう})で市町村合併の相手を選ぶ「(c)岩城町の合併についての意思を問う住民投票条例」が制定された。これは、全国で初めて投票対象者を18歳以上の者とし、未成年者に投票権を与え、実施された条例である。

すでに、18歳になると、自動車の運転免許が取得できたり、深夜時間帯(午後10時から午前5時)に労働できたりするなど、社会生活において成人としての扱^{あつか}いを受ける機会が多い。今後はさらに政治における権利も得ることになる。その責任を自覚し、行動していくことが求められる。

問1. 下線部(a)に記された特質の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 善悪を判断する基準として、一般に承認されているという特質
- イ. 国家権力によって定められ、強制されるという特質
- ウ. 長い間のならわしや風習として、一般に承認されているという特質

問2. 下線部(b)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 約款
- イ. 白書
- ウ. 官報

問3. 下線部(c)はどのような法か、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 地方公共団体の長によって制定される成文法
- イ. 地方公共団体の議長によって制定される成文法
- ウ. 地方公共団体の議会によって制定される成文法

② 次の文章を読み、問いに答えなさい。

私たちの社会生活は、法律的にみると権利と義務の関係で成り立っている。この関係を法律関係という。社会生活が円滑に営まれるためには、権利者はその権利を正しく行使し、義務者はその義務を誠実に果たすことが必要である。また、権利者であっても、その権利を無制限に主張することは許されず、(a)公共の福祉に適合するように、信義に従い誠実に権利を行使しなければならない。

公共の福祉に適合しているかどうか争点となった「宇奈月温泉事件」の判例がある。その内容は、次のとおりである。温泉会社は引湯用の管を通していたが、その一部について土地所有者の了解を得ていなかった。Aは管の撤去に莫大な費用がかかることに目をつけ、その土地を購入した。Aは温泉会社に管の撤去を求め、応じなければ購入した土地全部を時価の数十倍の価格で買い取るように要求した。裁判所は(b)正当な範囲を逸脱した権利の行使であるとして、Aの要求を退けたというものである。

問1. 本文の主旨から、下線部(a)の説明として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 社会の向上や発展を目的とした社会全体の利益
- イ. 企業の活動方針のもととなる基本的な考え方
- ウ. 人間が人間として当然もっている基本的な権利

問2. 本文の主旨から、下線部(b)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 権利の主体
- イ. 権利の客体
- ウ. 権利の濫用

③ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

右にある看板をみてみよう。これは、犬の所有者に対して、「函館市犬による危害の防止等に関する条例」の第4条に規定された「畜犬に公の場所または他人の敷地内を荒らさせ、またはふん尿等により汚染させない」ことを周知させるものである。

この看板の「犬の糞尿で公共の場所を汚してはいけません」を(a)法文の字句、文章を文字どおりに解釈すると「犬の糞尿で公共の場所を汚してはいけない」と解釈することができる。一方、法全体との関連を考えて、論理に従い解釈すれば、(b)「猫やうさぎなど他のペットに関しても糞尿で公共の場所を汚してはいけない」という解釈や、「公共の場所でなければ犬の糞尿を放置してもよい」という解釈をすることができる。

フンの放置は みんなの迷惑です

犬の糞尿で公共の場所を汚してはいけません。自宅で糞尿するようにしつけましょう。
散歩中に「フン」をした場合は、必ず持ち帰って処分しましょう。

※フンを放置すると「函館市犬による危害の防止等に関する条例」により5万円以下の罰金または料料に処せられます。

函館市・市立函館保健所

問1. 下線部(a)のような法の解釈を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問2. 本文の主旨から、下線部(b)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 法文にはない表現を、法文とは逆に解釈する反対解釈
- イ. 法文から内容を推しはかかって、同じように解釈する類推解釈
- ウ. 法文の文字や文章を、通常の意味より狭く解釈する縮小解釈

④ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aはある程度の資産をもっている70歳の男性で、配偶者や子はいない。先日、Aはあるニュースを見て、とても驚いた。その内容は、わが国で認知症を患う人の数が2025年には700万人を超えるとの推計値が出たというものだった。

Aは自分が認知症になり、(a)自分のしようとする行為の意味や性質について正常に判断できる能力がなくなる可能性もあると思い、法律に詳しい知人Bに尋ねてみた。すると、Bから「成年後見制度という制度があり、そのなかに(b)将来自分の判断能力が不十分になった場合に備えて、自分の生活、療養看護、財産管理に関する事務を行う後見人を決定し、代理権をあたえる契約を結んでおく制度があります。この制度では、裁判所が選任する人物の監督のもとで、後見人による保護を受けることができます」と返答された。そこで、Aは手続きに必要な書類や後見人の選別などの準備を始めることにした。

Aは、手続きが完了する前に、認知症となった場合はどうなるのだろうと思い、再びBに尋ねてみた。するとBから「その場合、法定後見制度を利用することになります。これは現に判断能力が不十分な状態にある人が、本人か家族の申し立てにより、裁判所が、判断能力の状態に応じて、補助人、保佐人、成年後見人を選任する制度です。例えば、裁判所から(c)被補助人に該当すると判断された場合、補助人の同意なしで行った預金の管理や不動産の処分など、特定の法律行為は取り消すことができます」と説明された。

さらに、Bは「ただし、被補助人と取引をする場合、取引が取り消される可能性があるため、取引の相手方は不安ですね。そこで、そのような場合、(d)民法では、取引の相手方は補助人に対して催告することができる。とされています」と教えてくれた。

Aは、これらの制度について、より理解を深め、活用していくことにした。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 意思能力 イ. 権利能力 ウ. 行為能力

問2. 本文の主旨から、下線部(b)を何というか、漢字4文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問3. 下線部(c)の対象者として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 軽度の精神上的障害により判断能力が不十分な者
イ. 精神上的障害により判断能力が著しく不十分な者
ウ. 精神上的障害により判断能力を欠く常況にある者

問4. 下線部(d)の内容として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 取引の相手方は詐術を用いられた場合のみ、補助人に対して取引を認めるかの確答を求めることができ、確答がない場合、補助人は取引を認めたことになる。
イ. 取引の相手方は1か月以上の期間を定め、補助人に対して期間内に取引を認めるかの確答を求めることができ、期間内に確答がない場合、補助人は取引を認めたことになる。
ウ. 取引の相手方は期間を定めることなく、補助人に対して取引を認めるかの確答を求めることができ、認めるという確答があった場合、補助人は取引を認めたことになる。

⑤ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

1944年のレイテ沖海戦で沈没した戦艦「武蔵」が、70年を過ぎた2015年3月に発見された。その約1か月後には元乗組員と遺族ら計約40人が洋上慰霊祭を行い、戦死者の冥福を祈った。太平洋戦争では戦艦「武蔵」の乗組員の方をはじめ、多くの人が亡くなった。戦時中は生死の確認が困難であったため、行方不明の状態が長く続く場合、戦死とされることもあったという。

現在のわが国においてもさまざまな要因で、不在者の生死不明の状態が長く続くことがある。こういう場合、不在者の財産関係が確定せず、家族や関係者が不安定な状態になる。そこで、民法において失踪宣告の制度が定められている。これは、不在者の生死不明になった状態が一定期間続いているとき、(a)利害関係人の請求により裁判所が失踪宣告をすると、法律上、その人を死亡したものとみなして扱うことができるという制度である。

この制度には、普通失踪と特別失踪がある。このうち、特別失踪の宣告を受ける者は戦地に臨んだり、沈没した船舶にいたりした特別な危難にあった者である。普通失踪の宣告を受ける者は、特別失踪に該当するような原因がない通常の者である。

また、普通失踪および(b)特別失踪の宣告を受けた者について死亡したとみなされるまでの失踪期間と死亡したとみなされる時期はそれぞれ民法で定められている。

今後わが国は、過去の歴史を踏まえ、平和な社会を継続させる努力を惜しんではならない。

問1. 下線部(a)に記された裁判所はどこか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

ア. 簡易裁判所 イ. 地方裁判所 ウ. 家庭裁判所

問2. 下線部(b)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 失踪期間は1年間、死亡したものとみなされる時期は1年間の期間満了の時である。
- イ. 失踪期間は1年間、死亡したものとみなされる時期はその危難が去った時である。
- ウ. 失踪期間は7年間、死亡したものとみなされる時期は7年間の期間満了の時である。

⑥ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

現代社会において、常に新たな商品や作品が作られることによって、私たちは快適な生活をおくることができる。新たな商品や作品の開発には、人間が苦勞して考え出した新しい発明や考案、著作などがもとになっていることが多い。

そこで、(a)新しい発明や考案、著作など、人間が考え出した無形のもので、経済的に利益をもたらす場合、その支配権が認められている。これは、主に産業上の無形の利益を保護する産業財産権と、思想および感情を創造的に表現する著作権に分類される。

これらの支配権は身近な生活にも関係している。例えば、大学生のAの生活における関係をみてみよう。Aは旅行に出かけることが多い。各地で記念写真を撮る場合、通りがかった人に頼んだり、タイマー機能を使っていたりしていたが、思うような写真を撮れず、残念な思いをすることがたびたびあった。

そんなAは、自分撮りを行うためのカメラやスマートフォンを取り付けて使用する棒状の器具が、最近人気と知った。そこで、この器具について調べてみたところ、1980年代にわが国のB社により考案されていたことがわかった。そして、当時、B社は(b)品物の形や構造または組み合わせの方法などが、産業上利用することができる考案として、この器具の産業財産権を取得していた。しかし、当時のカメラが重かったり、人ごみでは危なかったりという理由で、販売されたがあまり普及しなかった。Aはカメラに棒を取り付けるという発想が30年以上前に考案されていたことを知り、とても驚いた。

また、Aは撮影した内容をインターネット上にアップロードし、その説明文とともに多くの人にwebページを見てもらっている。調べていくうちに、webページを制作する際、著作権についても理解しておくことが大切だと知った。インターネット上にはさまざまなwebページがあるが、著作権を考慮していないと感じるものも見受けられる。これまであまり意識していなかったが、Aは(c)著作権が有効期間内の著作物を掲載する場合は、違反にならないwebページの制作を心がけることにした。

問1. 本文の主旨から、下線部(a)に記されている権利を総称して何というか、漢字4文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問2. 下線部(b)に記された産業財産権を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 実用新案権 イ. 商標権 ウ. 特許権

問3. 下線部(c)の具体例として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. ある作家の書籍を紹介したい場合、その書籍のイメージを損なわなければ、webページの制作者は作家の許諾はとらずに、独自に書籍の要約文を作成しても違反にならない。
- イ. ある歌手の曲を紹介したい場合、その曲を正確に伝えるためならば、webページの制作者は歌手の許諾はとらずに、CDの曲をコピーし流しても違反にならない。
- ウ. ある画家の絵画を使用したい場合、その絵画を画像化する必要があるならば、webページの制作者は、画家から使用の許諾をとれば、写真を撮影し掲載しても違反にならない。

7 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは、青森県で飲料会社を起業することにした。そこで、工場を建設するための土地を探していたところ、Bが所有している土地を購入することを決め、AはBと土地の売買契約を結んだ。なお、特約はなかった。この土地には立派な庭木がある。Aは「今回の売買契約で土地の所有権を得ることができたが(a)庭木の所有権はどうなるのだろう」と思った。Bに確認したところ「特約はないので、民法の規定どおりです」という返事だった。

その後、Aはこの土地に工場を建設し、まず、りんごジュースの製造、販売を行うことにした。そのため、りんごを購入する必要があるため、近隣のりんご農家から(b)りんご10kgあたりの価格を決めて買い取ることにした。その後、りんごジュースの販売量は順調に伸びた。Aは、他にも多くの商品を開発し、その業績は伸び続けている。

問1. 本文の主旨から、下線部(a)の結論として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい

- ア. 土地の所有権がAに移転したので、土地の定着物である庭木の所有権もAに移転する。
- イ. 土地の売買には含まれていないので、庭木の所有権はBのままである。
- ウ. 土地の所有権はAに移転したが、Bが庭木を移動させることができればBに移転する。

問2. 下線部(b)を物の種類として分類するとどれに当てはまるか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 特定物 イ. 不特定物 ウ. 不動産

8 次の文章を読み、問いに答えなさい。

物権とは人が一定の物を直接、そして排他的に支配できる権利を指し、(a)民法175条で「物権は、この法律その他法律に定めるもののほか、創設することができない」とされている。また、物権の種類の中に用益物権があり、これは他人の所有する土地を一定の制限内で使用・収益することができる権利である。

[事例]

2015年3月に北陸新幹線が金沢駅まで延伸開業した。北陸新幹線はトンネルが多く、その割合は長野駅から金沢駅間(延長約228km)で44.3%に達している。そこで、地表からトンネルの上部までの間が5m以下の場合、原則として用地を買収し、地表からトンネル上部までの間が5mを超えて30mまでの区間については、(b)トンネルを通すために他人の所有する土地を使用することができる用益物権を設定している。地表からトンネル上部までの間が30mを超える場合、権利設定は行われていないということである。

問1. 下線部(a)のような原則を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 無過失責任主義 イ. 一物一権主義 ウ. 物権法定主義

問2. 下線部(b)に記された用益物権を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 地上権 イ. 地役権 ウ. 入会権

㊸ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは自宅を改築するために、資金が必要となった。銀行預金や郵便貯金だけでは足りないので最寄り駅から近い金融機関で現金を借りようとした。金融機関に行くと職員から借りたい金額を聞かれたので、「30万円が必要です。金利は何%くらいになるのですか」と尋ねた。職員は金利表を見せながら「30万円のお借入れならば年17%の金利になります。(a)100万円以上は年15%や10万円以上100万円未満は年18%、10万円未満は年20%を上限金利とした法律はありますが、当店では上限金利よりも低い金利で融資しております」と答えた。しかし、Aは金利が高いと考えたので借りることをやめた。

翌日、勤め先の上司に相談すると、上司は「30万円くらいなら会社の融資制度を利用するといいいよ。そのかわり、君の親に連帯保証人になってもらいたい」と、Aに言った。連帯保証人になってしまうと(b)催告の抗弁権や検索の抗弁権もなく、Aが借りた現金を支払えなかったら、親が代わりに支払わなければならないが、親は連帯保証人を快く引き受けてくれた。

(c)Aは、30万円を会社から借り、元金と利息を10回に分けて返済していく契約を結んだ。その後Aは、借りた現金を返済することができた。

友人から現金を借りても(d)民法に記してある、利息を生ずべき債権について別段の意思表示がないときの利率を加えた現金を返還する場合がある。基本的には無利息で貸してくれることもあるが、友人との信頼関係を失うときもあるので借りづらい。Aは、一人で悩まずに上司に相談して良かったと思った。

問1. 下線部(a)を何というか、漢字5文字で正しい法律名を記入しなさい。

問2. 下線部(b)の内容として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 債権者が主たる債務者に請求しないで債務の履行を保証人に求めた場合、保証人はまず主たる債務者から債務の履行を求めてほしいと、債権者に請求することができる権利。
- イ. 保証人が主たる債務者にかわって債務を履行した場合、保証人は主たる債務者に対して、保証人が債権者に弁済した額の返還を請求することができる権利。
- ウ. 債権者が主たる債務者に請求したあとに、保証人に履行を求めた場合、主たる債務者には資力があり執行できることを示し、財産に対して強制執行せよと主張することができる権利。

問3. 下線部(c)のような貸借の契約を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 貸貸借
- イ. 消費貸借
- ウ. 使用貸借

問4. 下線部(d)の年利率として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 年5%
- イ. 年6%
- ウ. 年7%

10 次の文章を読み、問いに答えなさい。

物による担保物権とは、債権者が、債務者または第三者の特定の財産上に、優先的な権利をもつことによって、債務を履行させようとする制度である。担保物権には当事者間の契約によって生ずる約定担保物権と、法律の規定によって当然に認められる(a)法定担保物権がある。

[事例]

Aは、仕事の都合で引っ越しをしなければならず、一時的に資金が必要となった。そこで、日本製やスイス製、イタリア製など10本以上の腕時計を所有しているAは仕方なく近所の質店で、1本の時計を担保として現金を借りようと考えた。

質店に入ると店主に50万円で買った腕時計を渡して査定してもらった。すると20万円になると言われたので時計を担保として預け、(b)Aが腕時計を戻すための期日を決めて、Aが弁済期を過ぎても腕時計を戻すための現金を返済しない場合、腕時計は質店の所有物となる、質屋営業法によって認められている契約を結んだ。Aは受け取った現金を財布に入れ、自転車で家に帰り、洋服から財布を取り出そうとしたが、財布がないことに気が付いた。Aは急いで来た道に戻りながら財布を探したが見つからなかった。Aは財布が誰かに拾われて、警察署に届けられているかと思った。

翌日になってAは遺失届を出そうと警察署へ行った。警察官に話をすると、落とした時間や場所、財布の形状、中に入っている金額、他に入っているものなどを質問されたので答えた。すると警察官から「それなら、こちらで預かっています。この書類に記入してください」と言われ、書類に記入した。そして、Aは警察官から紛失した財布を受け取った。警察官は「財布が善良な人に拾われてよかったですね。また、(c)落とした人がわからず、遺失物法や民法による一定期間を過ぎると、拾った人が所有権を取得する場合も多いのです」と話した。Aは拾った人にお礼として報労金を渡したかったが、「拾得者は報労金の受け取りもお礼もいりませんと話していました」と言われ、お礼のことばも言えず申し訳ない気持ちでいっぱいになった。

問1. 下線部(a)の具体例として、次のなかから正しい組み合わせを一つ選びなさい。

ア. 地役権・永小作権 イ. 留置権・先取特権 ウ. 抵当権・質権

問2. 下線部(b)の契約を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問3. 下線部(c)の内容について、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 遺失物の拾得者が警察に届け出て警察署で公告をしてから、6か月以内に所有者が現れなければ、拾得者が遺失物の所有権を取得する。
- イ. 遺失物の拾得者が警察に届け出て警察署で公告をしてから、3か月以内に所有者が現れなければ、拾得者が遺失物の所有権を取得する。
- ウ. 遺失物の拾得者が警察に届け出て裁判所で公告をしてから、6か月以内に所有者が現れなければ、拾得者が遺失物の所有権を取得する。

11 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは親戚から、人間国宝となった陶芸家が制作したという、備前焼の茶器をもらった。ある日、Aはこの茶器の自慢をしようと、趣味で入会している茶会に持参し、参加者に見せびらかした。それを見たBは、Aにこっそりと「私は美術店で働いていたことがあるけれど、この備前焼は本物に見えるが人間国宝になった陶芸家の作品ではないよ。今、君に恥をかかせるわけにはいかないから、明日になったら詳しく教えてあげるよ」と言った。翌日にBと会い、茶器をみてもらおうと、Bは「これは偽物だよ。鑑定書も偽造だし、売却しても10万円位にしかならないよ。でも茶器のデザインが気に入ったから、20万円位で買ってもいいよ」と言葉巧みにAをだました。(a)Aは「20万円ならBに売却するよ」と茶器を引き渡し、売買契約を結んだ。

後日、webサイトを見ると、Aが売った茶器が出品者のCによって100万円で販売されていた。だまされたと知ったAは、Cに返還を求めるとCは「この茶器はBさんから購入しました。Bさんが、あなたをだまして茶器を購入したとは知りませんでした。私は正式にBさんと売買契約を結んで、代金を支払っていますから返却できません」と言った。果たして(b)事情を知らないCに売買の取り消しを主張して茶器を取り戻すことができるのか。Aは民法を調べることにした。Bの行動は許せないが、自分自身も二度とだまされないように注意しようと心に誓った。

問1. 本文の主旨から、下線部(a)の意思表示について、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 真意でない意思表示 イ. 強迫による意思表示 ウ. 瑕疵ある意思表示

問2. 下線部(b)の結論として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. Aは詐欺の事情を知らなかった第三者のCに売買の取り消しを主張することができず、茶器の返還を請求することができない。
- イ. Aは詐欺の事情を知らなかった第三者のCに売買の取り消しを主張することができ、茶器の返還を請求することができる。
- ウ. Aと弁護士が共同で詐欺の事情を知らなかった第三者のCに売買の取り消しを主張することができ、茶器の返還を請求することができる。

12 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは家族のために住宅を購入したいと考えている。駅から徒歩で15分以内の場所で日当たりもよく、駐車場付きの住宅を探したが新築住宅の物件では高額で住宅ローンが組めない。不動産業者に相談すると、中古住宅であるが条件に近い住宅を勧められた。家族も気に入ってくれたので、後日Aは、不動産業者に売買代金の10%を(a)解約手付として支払い、売買契約を締結した。

Aは銀行との住宅ローンの契約を締結し、同時に司法書士には、(b)住宅が以前に住んでいた人の所有権から、Aの所有権にかわる登記の手続きを依頼した。その後、Aは、新しい住宅に住み、幸せに暮らしている。

問 1. 下線部(a)の内容として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 契約の履行に着手する前なら、買い主は手付を放棄し、売り主は手付の倍額を返還して契約解除をすることができる。
- イ. 契約の履行に着手した後に、買い主は手付を放棄し、さらに損害賠償金も支払い、売り主は手付の倍額を返還して契約解除をすることができる。
- ウ. 契約の履行に着手する前なら、買い主は手付を放棄し、売り主も受け取っていた手付を返還して契約解除をすることができる。

問 2. 本文の主旨から、下線部(b)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 抹消登記 イ. 保存登記 ウ. 移転登記

13 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは地元で高級料理店を経営している。ある日、出張でAの料理店にBが来店し、食事をした。しかし、Bは会計のときになって、代金が足りないことがわかった。BはAに「すみません、所持金が不足していました。不足の分は、私が家に帰ったら必ず現金をお送りしますので、お待ちいただけませんか」と名刺を渡し、Aも承諾した。

しかし、しばらくしても、Bからの連絡がなかったので会社に電話をすると、長期間病気で入院しているとのことだった。

そして、請求をせずに1年が過ぎてもBから連絡がこないため、(a)権利を行使しないことによって、Bに代金を支払えと主張することができなくなる時効になると思った。(b)Aは時効の期間が完成する前にBに請求をして、改めて時効の期間を計算しなければならなくなるようにする方が良かったのかと悔やんだ。

Aは代金のことをあきらめていたが、ある日、Bからの手紙が届き「本当にすみません。帰ってから数日後に病気になり、入院しています。もうしばらくの間、待ってください」と綴ってあった。Bとの代金のやりとりについては、(c)もし時効の期間が完成しても、Bが自発的に支払う場合、民法ではAは受け取ることができるのか、時効が適用されないのか。そのように、考えながらBが完治する日を待ち望んだ。

問 1. 下線部(a)のような時効を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問 2. 下線部(b)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 時効の停止 イ. 時効の援用 ウ. 時効の中断

問 3. 下線部(c)の結論として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. Bが自発的に支払う場合は時効が適用されず、Aは代金を受け取ることができる。
- イ. Bが自発的に支払う場合でも時効が適用され、Aは代金を受け取ることができない。
- ウ. Bが支払う意思の尊重と時効が適用され、Aは代金の半額を受け取ることができる。

14 次の文章を読み、問いに答えなさい。

飲食店に勤務しているAは、注文を受けてバイクで配達をしていた。住宅街をゆっくり運転していると急に自転車に乗った少年が飛び出てきた。とっさにブレーキをかけたが、ハンドルに少年の腕が当たり、けがをさせた。Aは救急車を呼んで会社に連絡をしたあと、少年が搬送された病院に向かった。診断では腕を骨折しており、約3か月の加療が必要とのことだった。

Aと飲食店のオーナーは、すぐに少年の親に会いに行き、謝罪をした。親は飲食店のオーナーに「(a)Aさんは仕事中に交通事故を起こしており、あなたが責任者としての注意を怠って運転させていたならば、息子に対して責任をとるのは店であると思います」と言って、財産的な損害賠償金とともに(b)生命や身体が危険にさらされたことによる精神的な損害について、民法の規定にある賠償金を請求した。オーナーは「わかりました。オーナーの私が責任を負います。金額については保険会社の社員が交渉にあたると思います。お子さまには誠意をもって対応します。本当に申し訳ありません」と謝罪した。

オーナーは、(c)自動車賠償責任保険(自賠責保険)と他の保険会社の自動車保険にも加入していたので、すぐに事故の内容を保険会社へ報告した。保険会社は少年の治療費を補っていたが、少年のけがは完治し、治療費の支払いを停止した。

保険会社の社員と少年の親が会って損害賠償の話をした。少年が急に飛び出して、とっさによけ切れなかったという実況見分調書や保険会社の社員の説明により、(d)過失相殺をして両者が納得できる金額を保険会社が支払うということで親も了承した。

問1. 本文の主旨から、下線部(a)に記されている責任を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 共同不法行為責任 イ. 使用者責任 ウ. 挙証責任

問2. 下線部(b)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 見舞金 イ. 扶助料 ウ. 慰謝料

問3. 下線部(c)の内容として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 歩行者が、自動車による交通事故の被害にあったときや病気のために加入する強制保険
イ. 自動車を所有する者が、法律に基づき必ず加入しなければならない強制保険
ウ. 自動車を所有する者が、任意によって加入する任意保険

問4. 下線部(d)の内容として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 加害者が、不法行為によって損害賠償金を支払う場合、被害者にも過失があれば賠償額を減額されること。
イ. 加害者が、不法行為によって他人の権利に対する侵害行為をした場合、故意や過失があっても、損害賠償の責任を負わないということ。
ウ. 加害者が、不法行為によって損害賠償金を加害者の過失により多く支払った場合、利益を得る被害者に損害賠償金を返還させること。

15 次の文章を読み、問いに答えなさい。

高校3年生になるAの夢は、大学の商学部に入學し、在學中に税理士試験に合格することである。そのために、好きな読書の時間をけずり毎日5時間以上も英語や国語、簿記などの学習をしている。父親は一生懸命学習しているAを励ますつもりで「(a)もし、希望の大学に合格したら欲しがっている文学全集を買ってあげよう」と言った。するとAは「ありがとう、今は合格圏内に入っていないけど必ず合格するからね、それとお父さんが大事にしている野球選手のサインボールも欲しいなあ」と言うと「(b)あのサインボールは、私がこの世を去るまでは渡せないな」と返答した。

それから、勉強した努力が実り希望の大学に合格した。父親は約束どおり書店に行き、Aが欲しがっていた文学全集を購入し、届けてもらうことにした。文学全集が家に届くと父親は本の中身を確認した。すると、(c)途中のページが抜けており、書店の店主が債務を履行していないと考えた。父親は本を持って書店に行き、店主に「ページが抜けていたので、かわりの本はありませんか」と尋ねた。店主は「申し訳ありませんでした。希少な本なので、今は手元にありません。他店に在庫があるので、到着まで1週間位お待ちいただけませんか」と答えると、父親は「今日、合格パーティをするので無理だ」と言った。店主は「お客様が契約解除をすると、お互いに(d)原状回復義務が発生してしまいます。もしご希望である文学全集が必要になりましたら必ず連絡いたします。本当に申し訳ございません」と言って、父親に謝罪をした。

問1. 下線部(a)のような条件を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問2. 下線部(b)を法律行為としてみた場合、効力が発生する事実はどのように分類されるか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 有効期限 イ. 不確定期限 ウ. 確定期限

問3. 下線部(c)のような債務不履行を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 履行遅滞 イ. 履行不能 ウ. 不完全履行

問4. 本文の主旨から、下線部(d)の具体例として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 父親は買った本を書店の店主に返還し、書店の店主は父親から受け取っていた代金を返還して、契約する前の状態に戻すこと。
イ. 父親は新しい本が入荷するまで本を預かり、書店の店主は代金を返還せずに本を納入した時に、本を取り替えて契約をした時の状態に戻すこと。
ウ. 父親は買った本を書店の店主に返還せず、書店の店主は割引販売をし、代金の一部を受け取って契約を締結すること。

16 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは兄の結婚により家族が増えたため、近所にあるB所有の家を借りる契約を不動産業者と結んだ。家賃もアパートと同じくらいなのに部屋数が多く、一人で気楽な生活ができると思ったからである。Aは紹介してくれた不動産業者に対し、(a)家賃不払いや部屋の補修など、AがBに与えた損害の賠償を保証するためのもので契約が終了した時は未払い債務を清算し、残金が返還される金銭を預けた。

また、借家契約は定期借家権の契約ではなく**(b)普通借家権**の契約とした。2階建ての家で広々として周囲の借家のなかでも家賃は安かった。部屋も多かったので、Aは親せきのCを招いてよく寝泊まりさせていた。Cもこの家を気に入り、Aが現在支払っている家賃よりも多く支払うので、転貸してほしいと申し出た。Bに相談することなく、AはCに家を貸して家賃の安い家に住み、Cから家賃を受け取っていた。

後日、BはAがCに家を転貸していることを知って、家主と賃借人の信頼関係を崩す行為だと言ってきた。(c)Aは民法の規定では借家の転貸についてどのようになっているのか、調べてみることにした。なお、特約はない。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 礼金 イ. 敷金 ウ. 証拠金

問2. 下線部(b)の内容として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 期間満了によって確定的に借家関係が終了する。
イ. 正当な事由がない限り、家主の更新拒絶や解約の申し入れが認められない。
ウ. 当初の契約には30年以上、次の更新には20年以上、その後は10年以上の存続期間とする。

問3. 下線部(c)の結論として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 賃借人は、家主の承諾を得なくとも転貸することができるので、賃借人が無断で転貸した場合でも、家主は賃借人に対して契約の解除をすることができない。
イ. 賃借人は、家主の承諾が得られない場合、裁判所の許可を得ることにより、転貸することができるので、家主は賃借人に対して契約の解除をすることができない。
ウ. 賃借人は、家主の承諾を得なければ、転貸することができないので、無断で転貸した場合は、家主は賃借人に対して契約の解除をすることができる。

選択問題 I [会社に関する法]

① 次の文章を読み、問いに答えなさい。

X社はY社に2,000万円分の商品を販売し、代金としてY社が振り出した約束手形を受け取った。見ると、支払期日の記載がない手形だった。AはY社が後日、受取人に補充する権利を与えるために、(a)手形要件の全部または一部を記載しないで振り出した約束手形なのだと思います、Y社に尋ねたところ、記入漏れだということがわかった。X社はY社に(b)平成28年2月4日の木曜日を支払期日として記入してもらった。後日、X社はZ社から商品を仕入れて、この手形を裏書譲渡した。

しかし、満期日を過ぎたある日、(c)Z社から、「受け取っていたY社の振り出した手形は不渡りになったのですが、X社に手形代金を請求する権利があります」との連絡があった。X社はZ社に手形代金を支払い、Y社に手形代金の請求を行うことにした。

問1. 本文の主旨から、下線部(a)を何というか、漢字4文字で正しい用語を記入しなさい。

問2. 下線部(b)の支払呈示期間について、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 2月4日(木)から5日(金)までの2取引日
- イ. 2月4日(木)から8日(月)までの3取引日
- ウ. 2月4日(木)から16日(火)までの11取引日

問3. 本文の主旨から、下線部(c)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 求償権
- イ. 財産管理権
- ウ. 遡求権

② 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは株式投資に興味をもった。日経平均株価が20,000円を超えたこともあり、Aはこれからも値上がりをすると考えた。Aは証券会社を通して、X株式会社の株式を購入した。株主になると会社の運営に参加する共益権と、会社から経済的な利益を受ける自益権を得ることができる。

また、(a)共益権のなかには株主が株数にかかわらず行使できる単独株主権と、一定数以上の株式を持っている株主だけが行使できる少数株主権がある。

そして、株主総会にも出席し、(b)定款に別段の定めがある場合を除き、議決権を行使できる株主の議決権の過半数をもつ株主が出席し、出席した株主の議決権の過半数で成立する決議にも権利を行使してきた。

問1. 下線部(a)の具体例として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 株主総会の招集を請求する権利
- イ. 株主総会の議決権を行使する権利
- ウ. 剰余金の配当を受け取る権利

問2. 下線部(b)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 普通決議
- イ. 特別決議
- ウ. 特殊決議

選択問題Ⅱ〔企業の責任と法〕

① 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは、X高校を卒業後、地元企業に就職し約2年が経つ。ある日、AはX高校の先生からの依頼で、就職を希望する生徒に対し、社会人としての心構えについて講演することになった。

Aはその講演で、就職する際に必要な知識として、まず労働条件の話をした。(a)週40時間の労働時間や安全・衛生、年少者の保護など、労働者が人間らしい生活を送るための最低の労働条件を定めた法律を遵守することで、労働関係は成り立っていること。この法律のおかげでAは友人の結婚式のため会社を休む際、(b)一定日数、給料が差し引かれることなく付与される休暇を取得することができたといった、具体的な事例を入れて話をした。

次に、社会保険制度について話をした。例えば、(c)業務外の事由による疾病や負傷の場合に備えた保険によって、労働者は安心して日常生活を送れることを説明した。

Aは自分の経験が、母校の後輩たちの将来に役立ってくれることを願いながら講演を終えた。

問1. 下線部(a)を何というか、漢字5文字で正しい法律名を記入しなさい。

問2. 本文の主旨から、下線部(b)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 介護休暇 イ. 育児休暇 ウ. 年次有給休暇

問3. 下線部(c)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 雇用保険 イ. 健康保険 ウ. 労災保険

② 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aの自宅に、身に覚えの無いB販売業者からメロンとその請求書が送られてきた。Aは、何度も業者に電話をかけたが、ずっと連絡がとれなかった。到着から15日が過ぎ、メロンが傷み始めていたので、困ったAはこのメロンを処分することにした。

メロンが到着して20日が過ぎたころ、B販売業者から連絡があり「メロンの代金を振り込んでください」と言ってきた。Aは、「私はメロンを注文していません。そちらから一方的に送られてきたのだから、代金は支払いません」と伝えた。しかし、B販売業者は応じてくれない。そこで、Aはこのような場合、民法においてはどうなるのかを調べることにした。

問1. 本文の主旨から、下線部の結論として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. メロンを返送できないので、売買契約は成立したことになり、代金を支払う必要がある。
イ. 一方的に送付され、到着後14日以上過ぎているので、代金を支払う必要はない。
ウ. 到着から8日以内にクーリングオフをしていないので、代金を支払う必要がある。

問2. 本文の主旨から、B販売業者が行った販売方法を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. ネガティブオプション イ. キャッチセールス ウ. マルチまがい商法

経済活動と法解答用紙

得点

1	問1	問2	問3

2	問1	問2

3	問1		問2
	解釈		

4	問1	問2			問3	問4
		制度				

5	問1	問2

6	問1			問2	問3
	権				

7	問1	問2

8	問1	問2

9	問1			問2	問3	問4

10	問1	問2		問3
		契約		

11	問1	問2

12	問1	問2

13	問1		問2	問3
	時効			

14	問1	問2	問3	問4

15	問1		問2	問3	問4
	条件				

16	問1	問2	問3

注：選択問題Ⅰ 　　いずれか1分野を解答すること。2分野を解答した場合は、選択問題すべてを無効とします。

選択問題Ⅰ〔会社に関する法〕

1	問1			問2	問3

2	問1	問2

選択問題Ⅱ〔企業の責任と法〕

1	問1			問2	問3

2	問1	問2

受験場校		受験番号	
------	--	------	--

総得点	
-----	--

経済活動と法模範解答

(各2点)

秘

()内は別解である。

得点

	問1	問2	問3
1	イ	ウ	ウ

	問1	問2
2	ア	ウ

	問1			問2
3	文	理	解釈	イ

14

	問1	問2			問3	問4
4	ア	任	意	後見	制度	ア
						イ

	問1	問2
5	ウ	イ

12

	問1			問2	問3
6	知	的	財	産	権
	(知的所有, 無体財産)				ア
					ウ

	問1	問2
7	ア	イ

	問1	問2
8	ウ	ア

14

	問1			問2	問3	問4
9	利	息	制	限	法	ア
						イ
						ア

8

	問1	問2		問3
10	イ	流	質	契約
				イ

	問1	問2
11	ウ	ア

	問1	問2
12	ア	ウ

14

	問1		問2	問3
13	消	滅	時効	ウ
				ア

	問1	問2	問3	問4
14	イ	ウ	イ	ア

14

	問1		問2	問3	問4
15	停	止	条件	イ	ウ
					ア

	問1	問2	問3
16	イ	イ	ウ

14

選択問題 I [会社に関する法]

	問1			問2	問3
1	白	地	手	形	イ
					ウ

	問1	問2
2	イ	ア

10

選択問題 II [企業の責任と法]

	問1			問2	問3
1	労	働	基	準	法
					ウ
					イ

	問1	問2
2	イ	ア

選択問題 I [会社に関する法]・選択問題 II [企業の責任と法]の2分野を解答した場合は、選択問題を0点としてください。

総得点
100